

情報公開文書

「Deep learning による凍結病理標本における原発性肺癌と転移性肺腫瘍の鑑別」

1. 研究の対象となる方

2010年1月から2022年12月までの間に、千葉県がんセンターで肺悪性腫瘍に対して手術療法を施行した患者さん。

2. 研究目的・研究の方法

この研究では、千葉県がんセンターで肺悪性腫瘍に対して手術治療を受けられた患者さんの診療情報で病理情報を中心に解析することで、今後の肺がんおよび転移性肺腫瘍の治療に役立てていくことを目的としています。研究の方法は、既に存在している診療情報（カルテの記載や検査データなど）と既存の病理スライドの解析による調査です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、診療録から診療情報を収集し、解析には病理スライドをデジタル化して使用します。収集する診療情報は、病歴、治療の方法・内容・効果・副作用、転帰等です。収集した情報は、個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）を削除して解析に用います。

4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター単独の臨床研究です。研究責任者は岩田剛和（呼吸器外科）、研究分担者は呼吸器外科である松井由紀子、山本高義、小野里優希、植松靖文、臨床病理部である伊丹真紀子、荒木章伸、川名秀忠、杉山孝弘、及川麻理子、牧瀬尚大、竹田直生です。

5. 個人情報の保護について

個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）は、情報管理責任者岩田剛和（呼吸器外科部長）が厳重に管理します。解析終了後、解析に用いた情報は研究責任者岩田の責任の下、施錠可能な保管庫で厳重に保管し、5年間保存した後に完全に消去します。研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際に患者さんを特定できる個人情報が用いられることはありません。

6. 研究の資金源および利益相反について

本研究は、呼吸器外科の運営資金を用いて行います。本研究の実施に関連して、研究者が開示すべき利益相反はありません。研究者の利益相反については、千葉県がんセンター利益相反委員会が適切に管理しています。利益相反情報の開示をご希望の方は、研究責任者にご連絡ください。

7. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は千葉県がんセンター倫理審査委員会で承認され、病院長から研究実施の許可が得られています。

8. この研究にあなたの情報を利用して欲しくない時はご連絡ください

あなたの診療情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究責任者までお申し出ください。学会や学術雑誌等への発表前であれば、あなたの診療情報を解析対象から削除いたします。発表後にお申し出頂いた場合は、まことに申し訳ございませんが、あなたの情報を発表内容から削除することはできません。しかし、あなたの個人情報や研究参加の事実が、発表の内容で判明することはありません。

本研究に関するご質問は、下記へお問い合わせください。

研究責任者：千葉県がんセンター呼吸器外科

岩田剛和

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

TEL：043-264-5431（代表番号）

版管理番号：ver1.1（2023年2月10日）